

文化に関するアンケート

県では、誰もが誇りや愛着を持てる滋賀を目指して、県民の皆さんとともに魅力ある滋賀の文化を育むために制定した「滋賀県文化振興条例」に基づき、文化振興に関する長期的な目標や施策の方向等を定めた「滋賀県文化振興基本方針(第2次)～文化で滋賀を元気に！～」を平成28年3月に策定し、文化振興施策を推進しています。

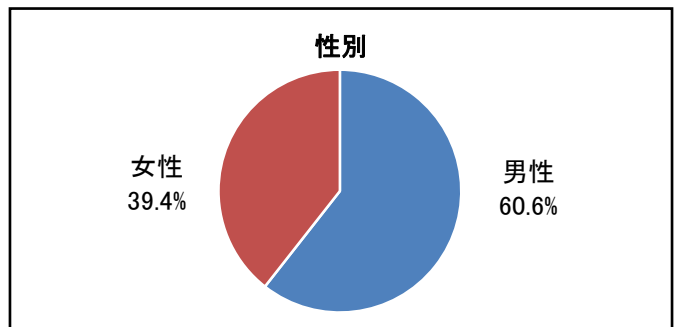
つきましては、県の文化振興施策を推進するにあたり、県民の皆さんの文化に関する状況を把握したく、アンケートを実施しました。

- ★調査期間:平成 29 年 9 月
- ★対象者:県政モニター399 人
- ★回答者数:335 人(回収率 84%)
- ★担当課:県民生活部文化振興課

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

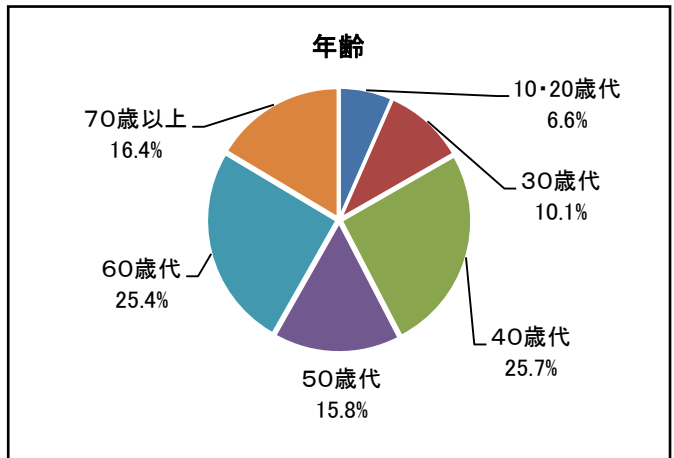
あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	203	60.6
女性	132	39.4
合計	335	100.0



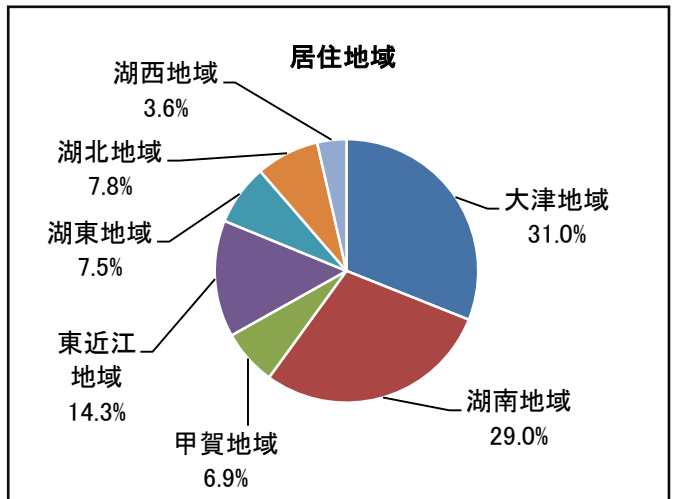
あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20 歳代	22	6.6
30 歳代	34	10.1
40 歳代	86	25.7
50 歳代	53	15.8
60 歳代	85	25.4
70 歳以上	55	16.4
合計	335	100.0



あなたのお住まいの市町村名を記入してください。

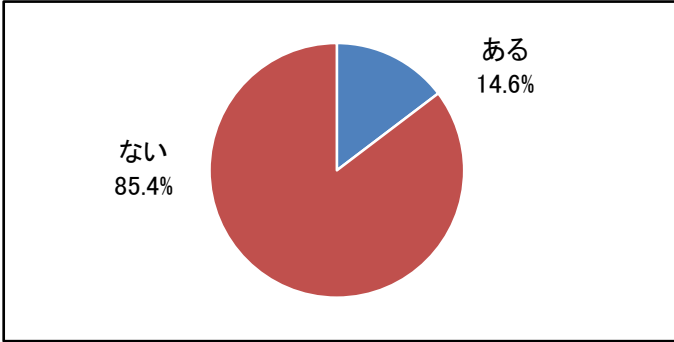
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	104	31.0
湖南地域	97	29.0
甲賀地域	23	6.9
東近江地域	48	14.3
湖東地域	25	7.5
湖北地域	26	7.8
湖西地域	12	3.6
合計	335	100.0



【問1】

滋賀県では、文化情報発信サイトである「滋賀文化のススメ」のホームページを運営し、県内のイベント情報や文化芸術団体、アーティストの情報や文化活動に関する助成金の情報等をインターネットで発信しています。あなたはこの1年間で「滋賀文化のススメ」を閲覧したことがありますか。
(回答チェックは1つだけ n=335)

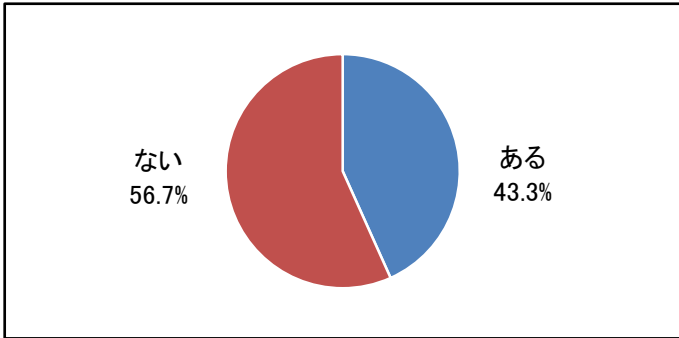
項目	人数(人)	割合(%)
ある	49	14.6
ない	285	85.4
合計	335	100.0



【問2】

滋賀県では、県内のホール、博物館、ギャラリーなどのイベント情報を掲載した文化情報紙「れいかる」を発行し、滋賀県内の市役所・町役場、文化施設、図書館や県内各金融機関に設置し無料配布しています。あなたはこの1年間で「れいかる」を読んだことがありますか。
(回答チェックは1つだけ n=335)

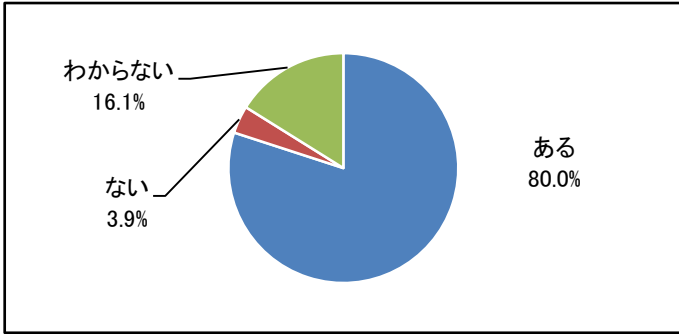
項目	人数(人)	割合(%)
ある	145	43.3
ない	190	56.7
合計	335	100.0



【問3】

滋賀県には、国内外に誇ることができる文化(多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など)があると思いますか。
(回答チェックは1つだけ n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	268	80.0
ない	13	3.9
わからない	54	16.1
合計	335	100.0

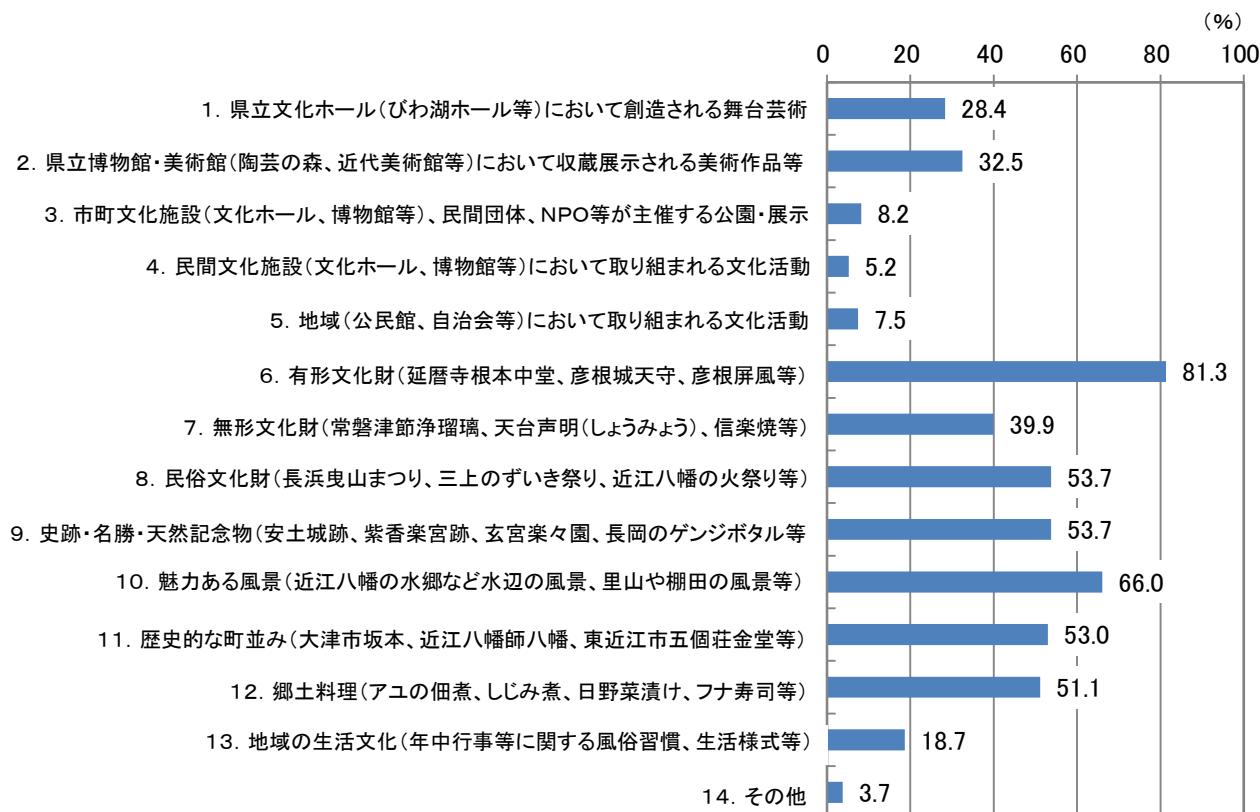


【問4】

*問3で「1. ある」を選択した方のみ回答してください。あなたが国内外に誇ることができる滋賀の文化とはどのようなものですか。(回答チェックはいくつでも)

また、具体的な名称があれば「具体的な名称」欄に3つ程度記入してください。(n=268)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県立文化ホール(びわ湖ホール等)において創造される舞台芸術	76	28.4
2. 県立博物館・美術館(陶芸の森、近代美術館等)において収集展示される美術作品等	87	32.5
3. 市町文化施設(文化ホール、博物館等)において開催される公演・展示	22	8.2
4. 民間文化施設(文化ホール、博物館等)、民間団体、NPO等が主催する公演・展示	14	5.2
5. 地域(公民館、自治会等)において取り組まれる文化活動	20	7.5
6. 有形文化財(延暦寺根本中堂、彦根城天守、彦根屏風等)	218	81.3
7. 無形文化財(常磐津節浄瑠璃、天台声明(しょうみょう)、信楽焼等)	107	39.9
8. 民俗文化財(長浜曳山まつり、三上のずいき祭り、近江八幡の火祭り等)	144	53.7
9. 史跡・名勝・天然記念物(安土城跡、紫香楽宮跡、玄宮楽々園、長岡のゲンジボタル等)	144	53.7
10. 魅力ある風景(近江八幡の水郷など水辺の風景、里山や棚田の風景等)	177	66.0
11. 歴史的な町並み(大津市坂本、近江八幡師八幡、東近江市五個荘金堂等)	142	53.0
12. 郷土料理(アユの佃煮、しじみ煮、日野菜漬け、フナ寿司等)	137	51.1
13. 地域の生活文化(年中行事等に関する風俗習慣、生活様式等)	50	18.7
14. その他	10	3.7



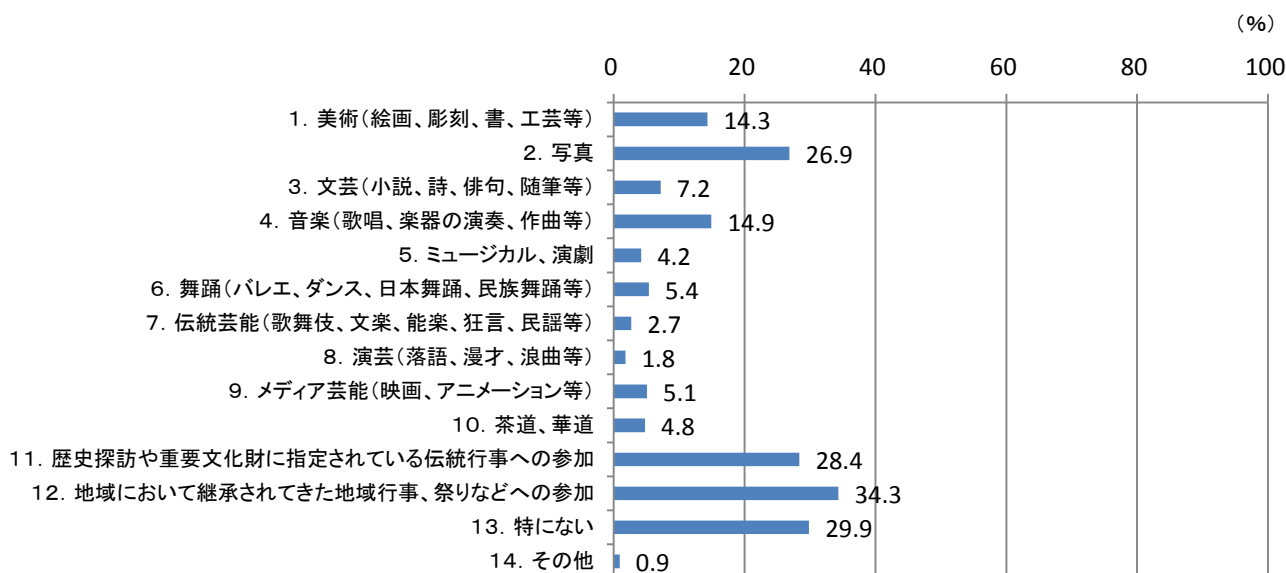
★具体的な名称(【問4】のその他)

- ・栗東芸術文化会館(さくら)で行われる演劇公演
- ・近江八幡の左義長
- ・湖北の風景 竹生島 沖島
- ・おこない
- ・琵琶湖に関する文化、料理
- ・県立美術館の小倉遊亀作品の展示、三井寺・石山寺の建造物と景観、大津祭、湖北の歴史遺跡など
- ・日吉大社のお祭り、小汐井神社の狐踊り、大津曳山祭り
- ・琵琶湖の夕景、マイアミ浜、松並木と琵琶湖
- ・大津祭り 琵琶湖大花火大会 建部大社 立木観音
- ・琵琶湖、彦根城、信楽焼
- ・びわ湖ホール、大津まつり
- ・大野木太鼓踊り、清滝区大松明、近江地区三大奴など
- ・大津絵
- ・彦根城
- ・水口城、多賀大社、長浜城
- ・中江藤樹
- ・彦根城、近江の水郷
- ・琵琶湖
- ・彦根城
- ・琵琶湖が戦国時代の要であったことを示す、琵琶湖の周囲に見られる水城、ないしその城址
- ・野口謙蔵
- ・東近江の飛行機掩体壕、米原鉄道掩体壕
- ・大津祭 山王祭 近江八景
- ・長浜子供曳山、うずくまる灰かぶり、伊庭の逆落とし等
- ・彦根城、ふなずし、びわこ
- ・湖東三山 など

【問5】

以下の文化創作活動について、この1年間にあなた自身がされたことをすべて選んでください。
(回答チェックはいくつでも)(n=335)

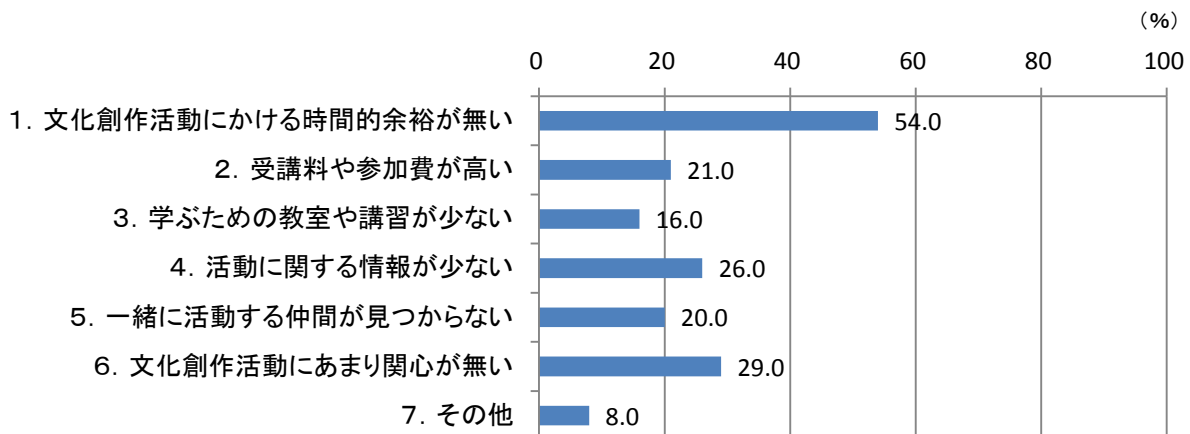
項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	48	14.3
2. 写真	90	26.9
3. 文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	24	7.2
4. 音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	50	14.9
5. ミュージカル、演劇	14	4.2
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等)	18	5.4
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	9	2.7
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	6	1.8
9. メディア芸能(映画、アニメーション等)	17	5.1
10. 茶道、華道	16	4.8
11. 歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	95	28.4
12. 地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	115	34.3
13. 特にない	100	29.9
14. その他	3	0.9



【問6】

* 問5で「13. 特にない」を選択した方のみ回答してください。文化創作活動をされなかったのはなぜですか。
(回答チェックはいくつでも) (n=100)

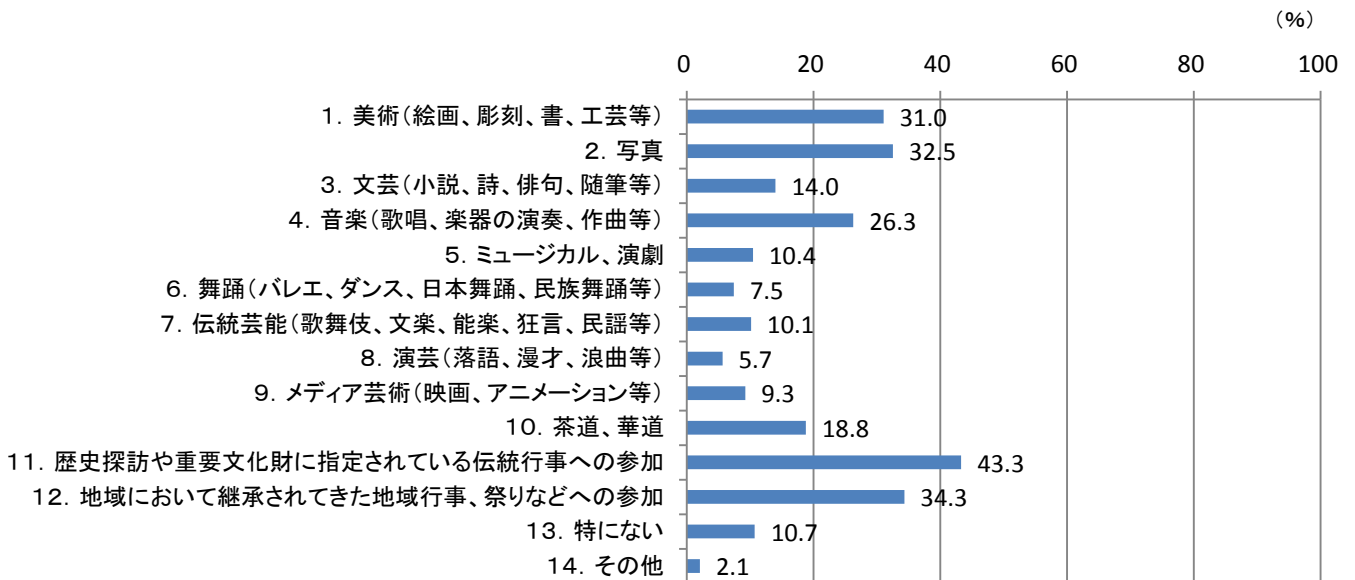
項目	人数(人)	割合(%)
1. 文化創作活動にかかる時間的余裕が無い	54	54.0
2. 受講料や参加費が高い	21	21.0
3. 学ぶための教室や講習が少ない	16	16.0
4. 活動に関する情報が少ない	26	26.0
5. 一緒に活動する仲間が見つからない	20	20.0
6. 文化創作活動にあまり関心が無い	29	29.0
7. その他	8	8.0



【問7】

今後あなたがしてみたい文化創作活動について、すべて選んでください。
 (回答チェックはいくつでも) (n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	104	31.0
2. 写真	109	32.5
3. 文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	47	14.0
4. 音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	88	26.3
5. ミュージカル、演劇	35	10.4
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等)	25	7.5
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	34	10.1
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	19	5.7
9. メディア芸術(映画、アニメーション等)	31	9.3
10. 茶道、華道	63	18.8
11. 歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	145	43.3
12. 地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	115	34.3
13. 特にない	36	10.7
14. その他	7	2.1

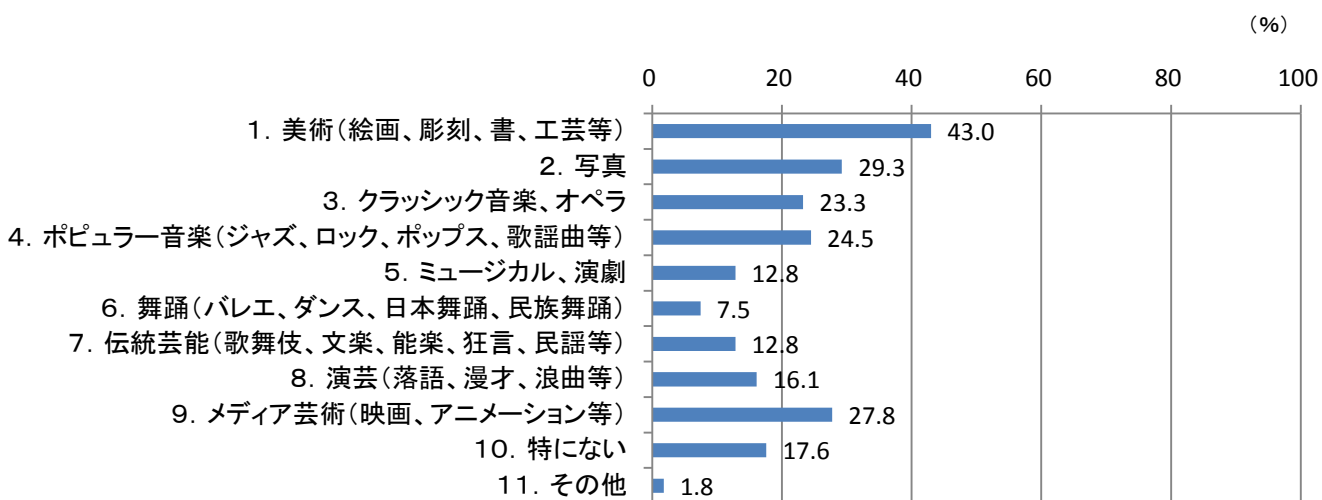


【問8】

芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、以下のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。

(回答チェックはいくつでも)(n=335)

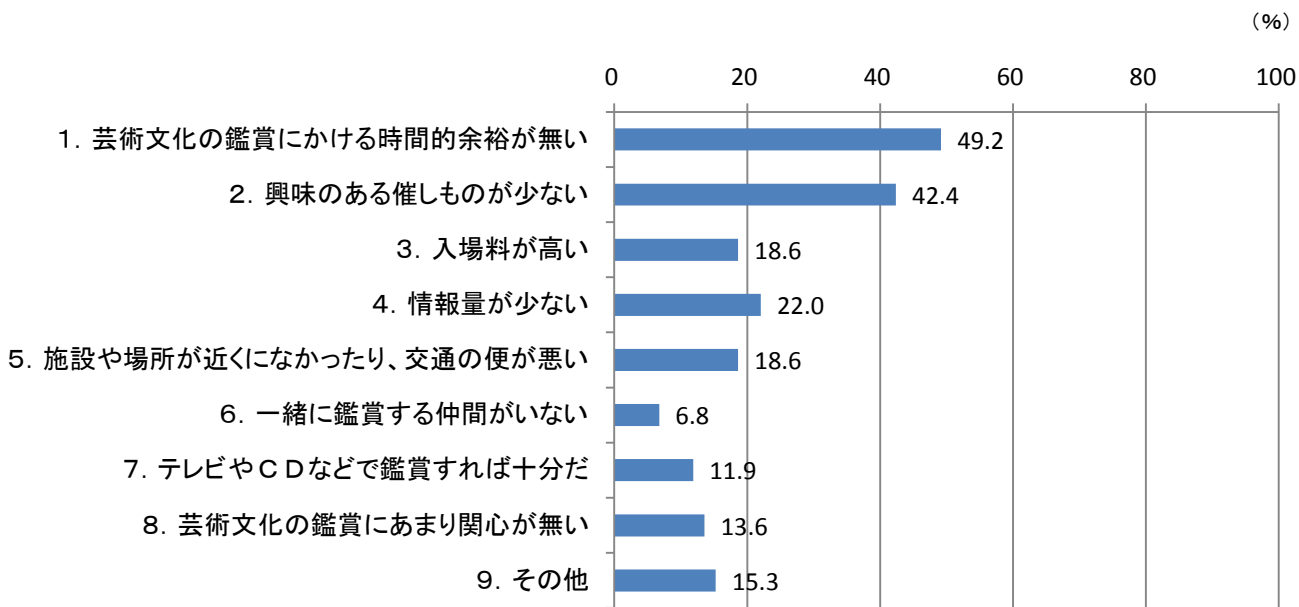
項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	144	43.0
2. 写真	98	29.3
3. クラシック音楽、オペラ	78	23.3
4. ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	82	24.5
5. ミュージカル、演劇	43	12.8
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊)	25	7.5
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	43	12.8
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	54	16.1
9. メディア芸術(映画、アニメーション等)	93	27.8
10. 特にない	59	17.6
11. その他	6	1.8



【問9】

* 問8で「10. 特にない」を選択した方のみ回答してください。
文化鑑賞活動をされなかったのはなぜですか。(回答チェックはいくつでも)(n=59)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 芸術文化の鑑賞にかかる時間的余裕が無い	29	49.2
2. 興味のある催しものが少ない	25	42.4
3. 入場料が高い	11	18.6
4. 情報量が少ない	13	22.0
5. 施設や場所が近くなかったり、交通の便が悪い	11	18.6
6. 一緒に鑑賞する仲間がいない	4	6.8
7. テレビやCDなどで鑑賞すれば十分だ	7	11.9
8. 芸術文化の鑑賞にあまり関心が無い	8	13.6
9. その他	9	15.3

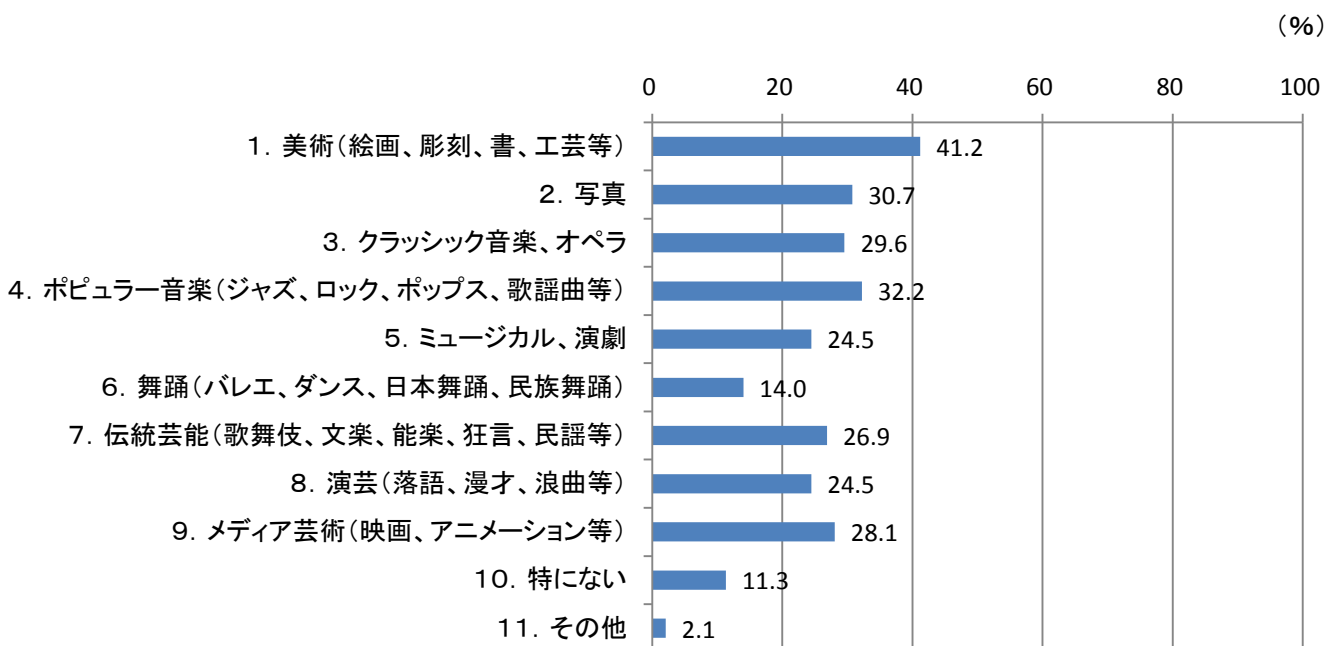


【問10】

今後あなたがしてみたい芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、以下のジャンルの中で、当てはまるものを選んでください。

(回答チェックはいくつでも)(n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	138	41.2
2. 写真	103	30.7
3. クラシック音楽、オペラ	99	29.6
4. ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	108	32.2
5. ミュージカル、演劇	82	24.5
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊)	47	14.0
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	90	26.9
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	82	24.5
9. メディア芸術(映画、アニメーション等)	94	28.1
10. 特にない	38	11.3
11. その他	7	2.1

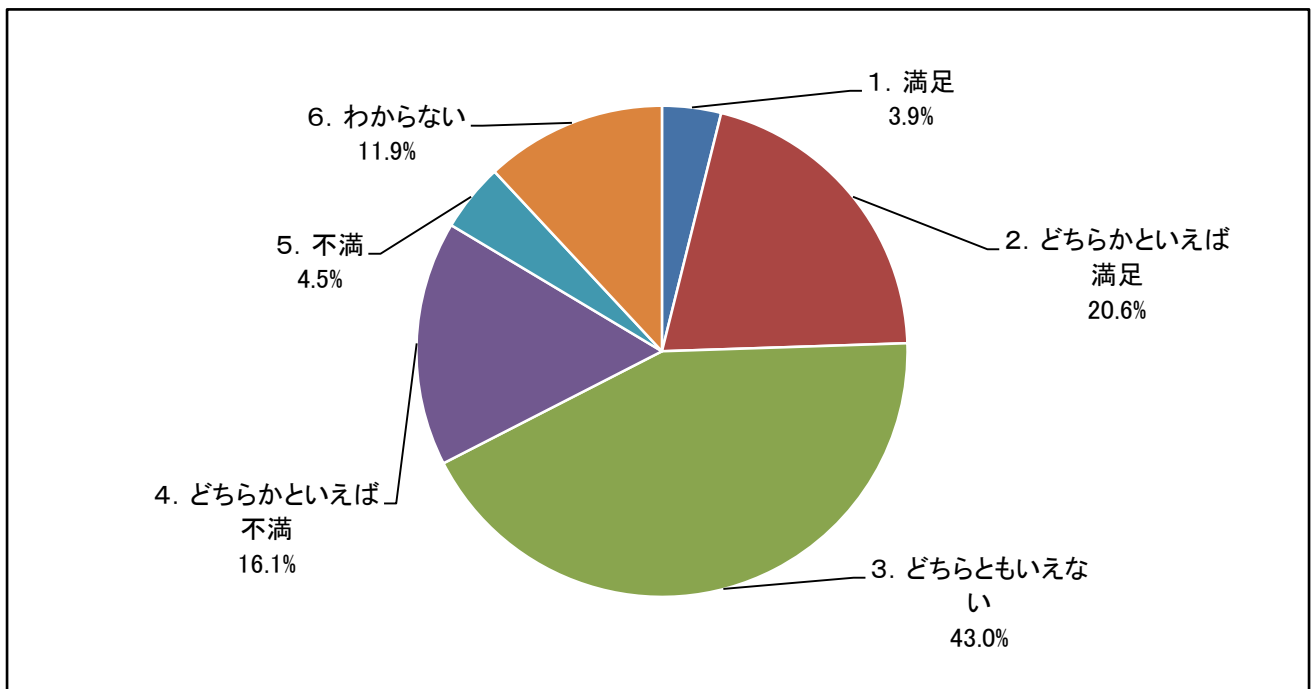


【問11】

本県における「文化やスポーツを楽しめるまちづくり」の施策（「地域を元気にする文化振興と「美の滋賀」づくり」等）について、あなたはどの程度満足していますか。あなたの満足度に最も近いものを選んでください。

（回答チェックは1つだけ）（n=335）

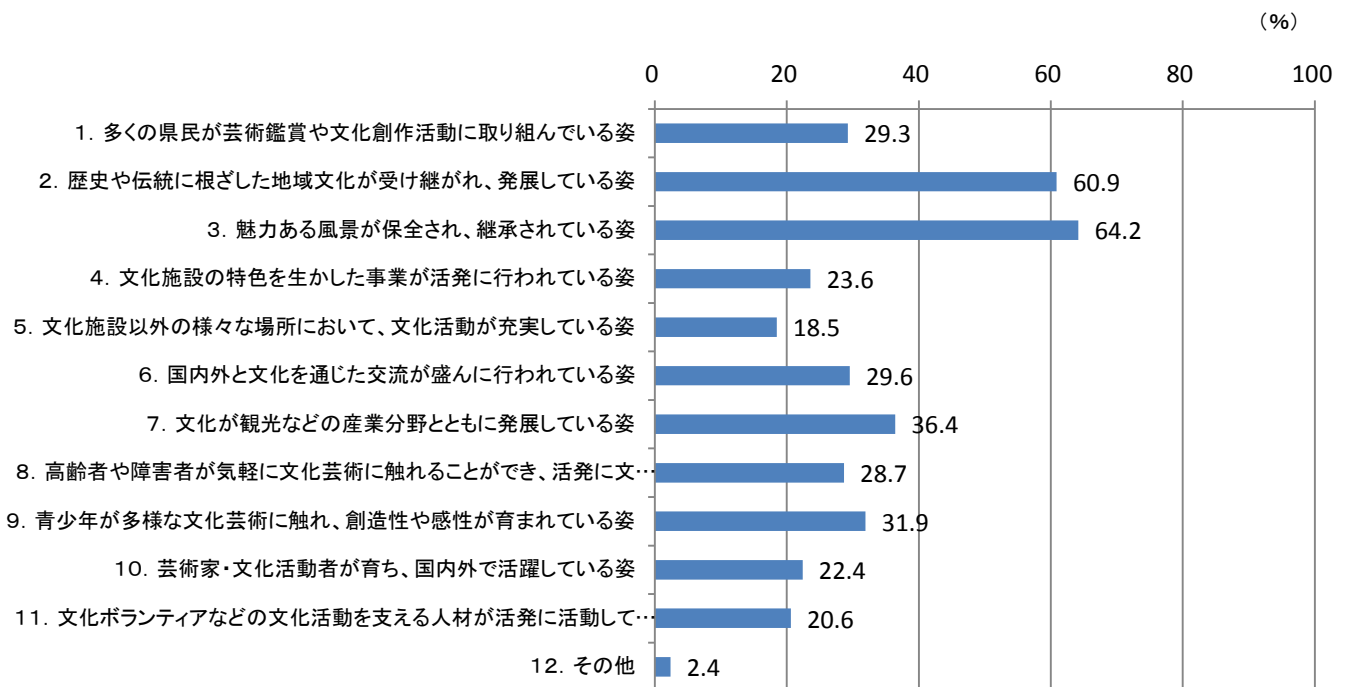
項目	人数(人)	割合(%)
満足	13	3.9
どちらかといえば満足	69	20.6
どちらともいえない	144	43.0
どちらかといえば不満	54	16.1
不満	15	4.5
わからない	40	11.9
合計	335	100.0



【問12】

滋賀の文化の望ましい将来像はどのような姿であると思いますか。
 (回答チェックはいくつでも)(n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 多くの県民が芸術鑑賞や文化創作活動に取り組んでいる姿	98	29.3
2. 歴史や伝統に根ざした地域文化が受け継がれ、発展している姿	204	60.9
3. 魅力ある風景が保全され、継承されている姿	215	64.2
4. 文化施設の特徴を生かした事業が活発に行われている姿	79	23.6
5. 文化施設以外の様々な場所において、文化活動が充実している姿	62	18.5
6. 国内外と文化を通じた交流が盛んに行われている姿	99	29.6
7. 文化が観光などの産業分野とともに発展している姿	122	36.4
8. 高齢者や障害者が気軽に文化芸術に触れることができ、活発に文化活動に取り組んでいる姿	96	28.7
9. 青少年が多様な文化芸術に触れ、創造性や感性が育まれている姿	107	31.9
10. 芸術家・文化活動者が育ち、国内外で活躍している姿	75	22.4
11. 文化ボランティアなどの文化活動を支える人材が活発に活動している姿	69	20.6
12. その他	8	2.4

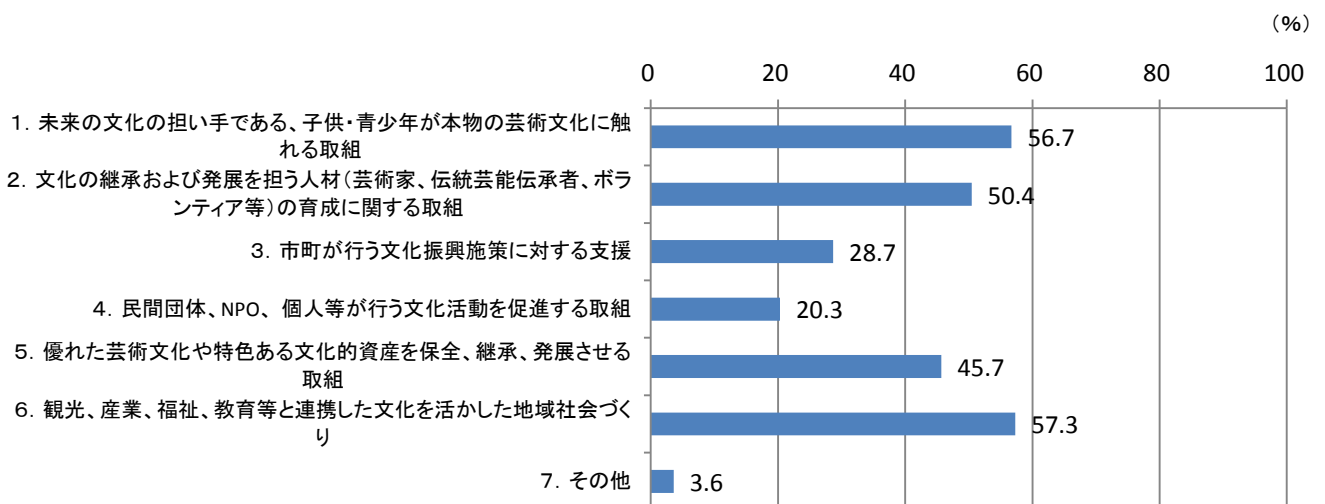


【問13】

滋賀の文化振興にあたっては、県、市町、民間団体等がそれぞれ役割分担する中で、県は広域的、専門的な取組に重点を置く必要があると思われます。あなたは、県が今後（5年間程度）、特に担うべき取組とはどのようなものだと思いますか。

（回答チェックはいくつでも）(n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 未来の文化の担い手である、子供・青少年が本物の芸術文化に触れる取組	190	56.7
2. 文化の継承および発展を担う人材(芸術家、伝統芸能伝承者、ボランティア等)の育成に関する取組	169	50.4
3. 市町が行う文化振興施策に対する支援	96	28.7
4. 民間団体、NPO、個人等が行う文化活動を促進する取組	68	20.3
5. 優れた芸術文化や特色ある文化的資産を保全、継承、発展させる取組	153	45.7
6. 観光、産業、福祉、教育等と連携した文化を活かした地域社会づくり	192	57.3
7. その他	12	3.6

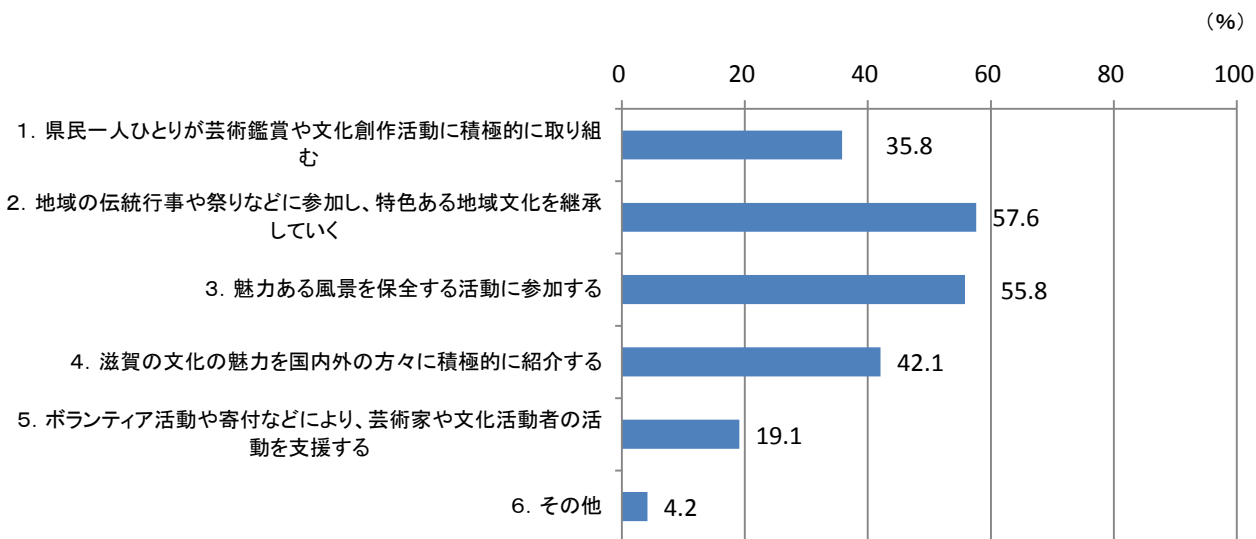


【問14】

滋賀の文化力を高め、活力あふれる地域社会を実現するためには、県民の皆さん一人ひとりの主体的な取組が重要です。そのために、県民のみなさんはどのような役割を担うべきだと考えますか。

(回答チェックはいくつでも)(n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県民一人ひとりが芸術鑑賞や文化創作活動に積極的に取り組む	120	35.8
2. 地域の伝統行事や祭りなどに参加し、特色ある地域文化を継承していく	193	57.6
3. 魅力ある風景を保全する活動に参加する	187	55.8
4. 滋賀の文化の魅力を国内外の方々に積極的に紹介する	141	42.1
5. ボランティア活動や寄付などにより、芸術家や文化活動者の活動を支援する	64	19.1
6. その他	14	4.2

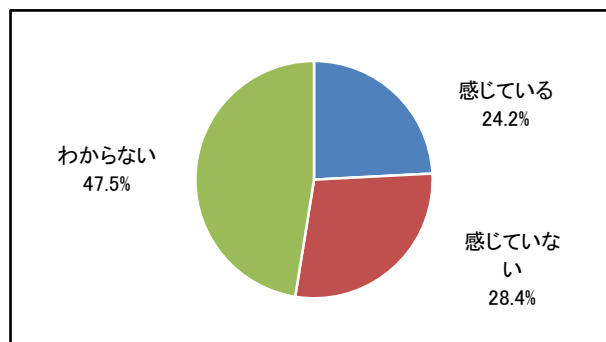


【問15】

滋賀県では、子どもが本物の文化に触れる機会の充実を重点施策として取り組んでいます。学校の授業での文化・芸術体験学習、美術館・文化ホール等の文化施設で提供されている子ども向けプログラム、地域での取組などにより、子ども(中学生以下)が文化・芸術を体験する機会が確保されていると感じていますか。

(回答チェックは1つだけ)(n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 感じている	81	24.2
2. 感じていない	95	28.4
3. わからない	159	47.5
合計	335	100.0

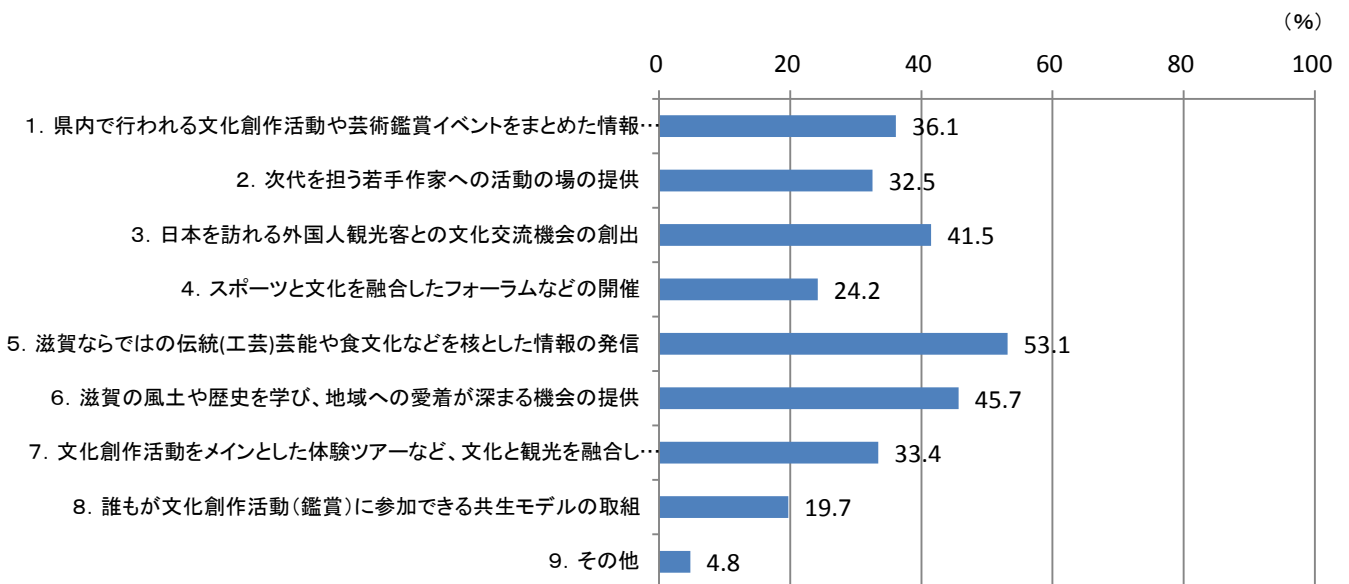


【問16】

2020年に東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、オリンピックおよびパラリンピックは、スポーツだけでなく文化の祭典でもあります。この機会を通じて県における文化振興の発展をめざす取組として何が必要だと思いますか。

(回答チェックはいくつでも)(n=335)

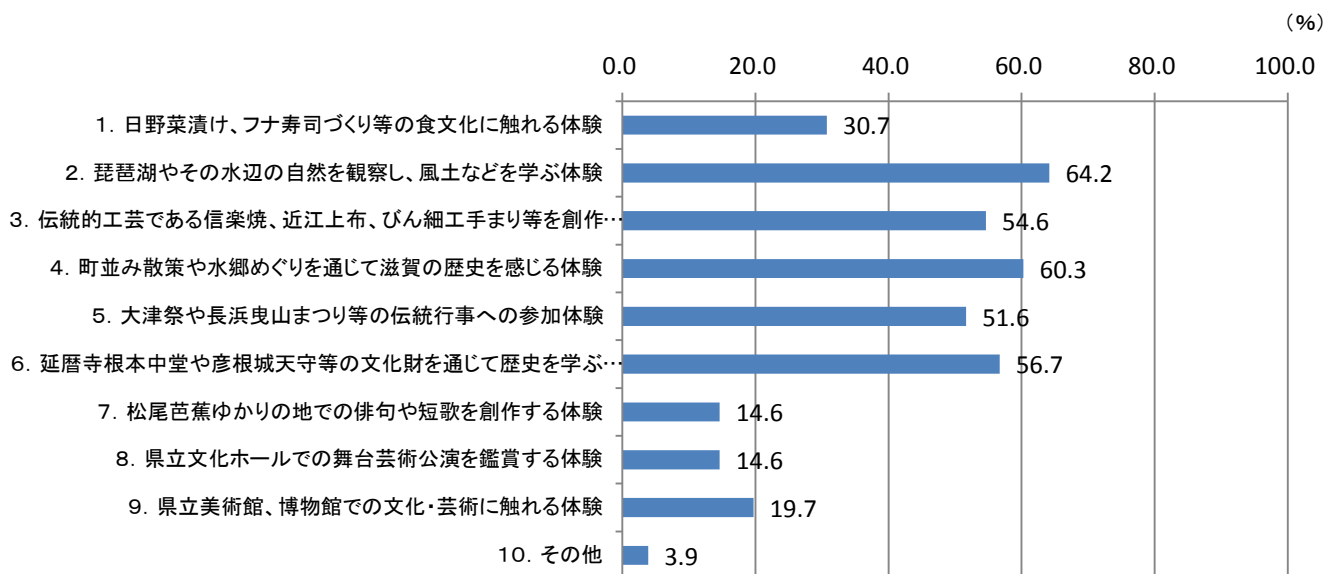
項目	人数(人)	割合(%)
1. 県内で行われる文化創作活動や芸術鑑賞イベントをまとめた情報の発信	121	36.1
2. 次代を担う若手作家への活動の場の提供	109	32.5
3. 日本を訪れる外国人観光客との文化交流機会の創出	139	41.5
4. スポーツと文化を融合したフォーラムなどの開催	81	24.2
5. 滋賀ならではの伝統(工芸)芸能や食文化などを核とした情報の発信	178	53.1
6. 滋賀の風土や歴史を学び、地域への愛着が深まる機会の提供	153	45.7
7. 文化創作活動をメインとした体験ツアーなど、文化と観光を融合した取組	112	33.4
8. 誰もが文化創作活動(鑑賞)に参加できる共生モデルの取組	66	19.7
9. その他	16	4.8



【問17】

国内外から訪問された方に滋賀の文化を体験してもらうには、どのようなものが良いと思いますか。
 (回答チェックはいくつでも) (n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 日野菜漬け、フナ寿司づくり等の食文化に触れる体験	103	30.7
2. 琵琶湖やその水辺の自然を観察し、風土などを学ぶ体験	215	64.2
3. 伝統的工芸である信楽焼、近江上布、びん細工手まり等を創作する体験	183	54.6
4. 町並み散策や水郷めぐりを通じて滋賀の歴史を感じる体験	202	60.3
5. 大津祭や長浜曳山まつり等の伝統行事への参加体験	173	51.6
6. 延暦寺根本中堂や彦根城天守等の文化財を通じて歴史を学ぶ体験	190	56.7
7. 松尾芭蕉ゆかりの地での俳句や短歌を創作する体験	49	14.6
8. 県立文化ホールでの舞台芸術公演を鑑賞する体験	49	14.6
9. 県立美術館、博物館での文化・芸術に触れる体験	66	19.7
10. その他	13	3.9

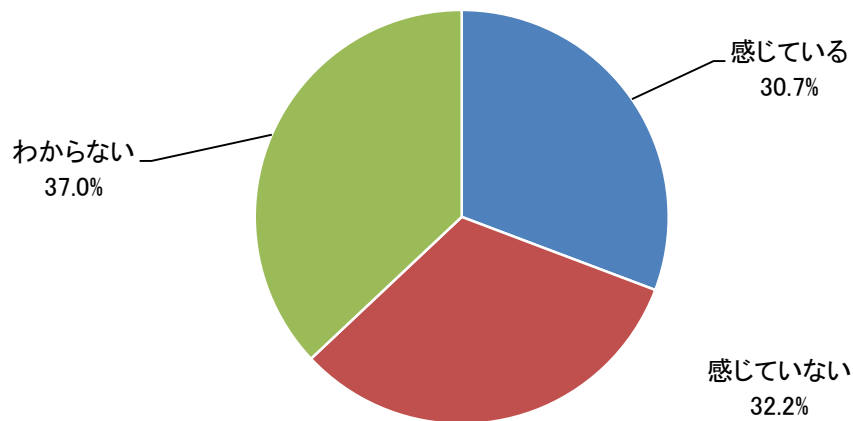


【問18】

あなたは、滋賀県内の文化ホールや美術館等の文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた芸術(全国・世界レベルの舞台芸術、芸術性の高い展覧会など)に触れることができると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

(n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 感じている	103	30.7
2. 感じていない	108	32.2
3. わからない	124	37.0
合計	335	100.0



【問19】その他、滋賀県における文化振興施策の推進に向けて、御意見等がありましたらお聞かせください。
(400字以内)(抜粋)

- ・2020年オリンピックに向け、滋賀県文化振興推進テーマを絞り活動推進する必要性を感じました。世界の多くの人々が滋賀県に来て頂くことが目的であります。よろしくお願い致します。
- ・外国の人がどのようなことに興味を持つのがわからないので、滋賀に来られているミシガン州の方達にアンケートをして、滋賀の良いところを拾い出すと思います。文化と芸術とスポーツを一緒にするには無理があると思います。各々の良いところをピックアップして、好みのものに興味を持って頂いたらどうでしょうか？気楽に楽しめる余裕がほしいです。
- ・「れいかる」は、発行される毎に、毎回読んでいて、私の貴重な情報源となっています。今後とも、内容を豊富に記載して頂き、発行して頂きたいと思っています。
- ・芸術活動には、その才能(天分)を全くもっていない私は、関心が無い。しかし、滋賀県にある素晴らしい古代遺跡・寺社仏閣を大切に保護して、次世代につないでいく事には、協力できると思う。そんな機会を与えて頂ければ、喜んで参加・協力したい。
- ・歴史的には日本の中心的な役割を果たしていたのに一般にはイメージが薄い。アピールが不足している。
- ・京都や大阪、神戸で開催されるような大型の巡回展を滋賀に呼んできてほしい。それだけに終わらせずに、滋賀の文化的魅力を発信する機会として、次に繋がっていくような企画にしたい。
- ・滋賀県内において、立地の格差が大きいけれど、それぞれを活かす発想が生まれることを期待したい。
- ・滋賀県は京都や奈良の様にお寺の数も多いのに、観光の目玉になる大きいものが活かせてないのでしょうか？最大の目玉になる琵琶湖を持って、観光産業と文化財のアピールを発信(方法は色々)将来の子供や若者達に滋賀の歴史や文化を教える授業が少しの時間でもあれば関心が高まるのかなと思う。
- ・文化振興施策にはぜひもっと予算を割いて、継続して各種の活動を支える人材を育ててほしい。
- ・京都という巨大な文化観光地域が存在するのであるから、無理な背伸びをせず、滋賀の特性を魅了できる施策の推進、魅力を感じるための情報の発信を行うべき。
- ・地元のかたが、すごいものなんだと感じられることが大切かと思います。今現在は日常の生活中にあるものとして存在してるように感じます。生活の中にあってもすごいものとして認識できるようにしたら、徐々に広がっていくのではないかと思います。
- ・SNS映えする何かを、イベントで行うともっと若者からの情報発信がされるのではないかと思います。
- ・イベントや催しなどに協力できるボランティアスタッフとかの募集などがあれば、今後は参加していきたいと思います。
- ・文化活動は、CDやDVD、液晶TV、インターネットができて、家庭で手軽に楽しめるようになっていて、わざわざ美術館やコンサートホールに行くことがなくなったのだと思います。旅行も行かず、TVで旅番組を見て楽しんでいるのが現状です。そういった嗜好に十分なお金をかけるだけの収入がないのも大きな理由かもしれません。金銭的な余裕がないのも事実です。この状況でわざわざ現場まで足を運ばせることは非常に難しい施策だと思います。いわゆる本物を知らない、疑似体験だけの文化活動はしているんです。バーチャルリアリティの開発は目覚ましいものがあるようです。これらの技術は文化活動振興の妨げになる可能性が高いですが、これを逆手にとって、うまく活用して文化振興に生かせないでしょうか。
- ・滋賀県の歴史文化(びわ湖の宝)は世界に誇る事が出来ます。私たちは今以上にびわ湖の宝を世界に発信する

べきです。そのためには琵琶湖の宝の存在を認識すべきです。

・定期的な継続が必要ではないでしょうか。一年に一度大きなイベントは勿論、数か月に一度何か気軽に県外からも参加でき、鑑賞できるようなイベントがあり滋賀県に足を運んでもらえば滋賀県の魅力を感じてくれる方も増えるはず。

・お隣京都に文化庁が来る。京都だけの文化庁ではないので滋賀県も積極的に動くべきだと思う。世界に向けて関西は情報を発信して、世界中の人に関西を認知してもらおう。その一翼を担う滋賀であってほしい。子育て世代には、時間もお金も無いので、文化に触れる機会が少ない。学校の課外学習を増やし、無料で文化活動に携われる様にしてほしい。

・設問の選択肢にも出てくるが、文化振興施策は、滋賀を盛り上げていく一つの活動であって、常に観光などといった他の要素との複合効果を目指した取り組み、進め方をしてほしい。県庁内の縦割りの進め方だけはやめて欲しい。

・体験型インバウンドの取組を滋賀のリソースをうまく取り込んで広げて行ってほしい。文芸、映画、舞台活動などの創作発表の場をいろいろな形で支援する仕組みをもっと構築してください。

・個人的に絵画鑑賞が好きです。大津市在住ですが、鑑賞の機会があまりありません。瀬田の美術館はありますが、遠いし、交通費も掛かります。もう少し近くで鑑賞できる場があれば良いと思います。某ショッピング施設で、アールブリュットの作品（絵画・粘土の作品等）が展示されていたことがありますが、小規模で残念でした。アールブリュットの作品も、もっと鑑賞したいのですが、困難です。アールブリュットの作品に限らず、美術作品を多くの県民が鑑賞できるような方法を、ぜひ考え、実行していただきたい、小・中学生が美術館で鑑賞している姿も極端に少ないと感じます。「うみのこ」「やまのこ」も良いですが、年中行事として、ぜひ美術鑑賞も学校行事に取り入れてほしいと思います。

・東京オリンピックを機に、滋賀県の認知度を世界に広めるチャンスだと思います。彦根城や、琵琶湖など、滋賀特有の財産を国内外に発信し、各地でイベント開催をしてほしいです。滋賀県民が多く関わるイベントとし、外国人が集まるような、催しが理想です。思い切って、彦根城の入場料を無料にするとか（一時的に）、グルメ大会を開いたり、大々的に宣伝をしてほしいです。